

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局地方道・環境課
担当課長名：吉崎 収

事業名 地域高規格道路 高松環状道路 <small>えんごこうなんせん なかつま</small> 主要地方道 円座香南線 中間工区	事業 区分： 地方道	事業 主体： 香川県
起終点 自：香川県高松市中間町 至：香川県高松市岡本町	延長 3.0km	
事業概要 主要地方道円座香南線は、高松市円座町を起点とし、高松市香南町岡に至る延長8.7kmの主要幹線道路である。当該箇所を整備することで、慢性的な渋滞ポイントとなっている上天神交差点・三名交差点の渋滞緩和、四国横断自動車道高松西ICから高松空港に至る交通の円滑化に寄与するものである。		
H11年度事業化 H10年度都市計画決定 H12年度用地着手 H14年度工事着手		
全体事業費 146億円 事業進捗率 82% 供用済延長 2.4km(側道)		
計画交通量 10,600~11,800台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.9 (残事業) 21.5	総費用 (残事業)/ (事業全体) 23/170億円 (事業費：21/169億円) (維持管理費：1.7/1.7億円)
総便益 (残事業)/ (事業全体) 497/497億円 (走行時間短縮便益：476/476億円) (走行経費減少便益：17/17億円) (交通事故減少便益：3.7/3.7億円)		基準年 平成20年
事業の効果等 円滑なモビリティの確保(第二種空港へのアクセス向上が見込まれる) 国土・地域ネットワークの構築(地域高規格道路の位置づけあり)		
他5項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 県内の市町で構成されている「香川県地域高規格道路建設促進期成同盟会」により、本路線の整備促進の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 高松自動車道の開通状況 H13年3月：(高松中央IC～さめぎ三木IC・津田東IC～板野IC) H14年7月：(板野IC～鳴戸IC) H15年3月：(高松西IC～高松中央IC)が開通。これにより、高松自動車道全線開通。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 側道の開通状況 H16年10月：0.5km H21年1月：1.9km の側道を供用開始 残事業 側道の整備：0.6km 高架橋整備：1箇所		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 事業規模が大きいため、長期間の事業となっている。		
施設の構造や工法の変更等 早期事業効果発現のため全線にわたる側道整備を優先させている。 今後、コトデン琴平線を跨ぐ橋梁について構造形式を検討し、コスト縮減を図っていく。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性に変わりはない。		
事業概要図 		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。